

2023 年度（令和 5 年度）

第 1 回細胞検査士会役員会

議案書

日時：第 63 回日本臨床細胞学会総会春期大会

2023 年 6 月 9 日（金） 15：00～16：00 現地

場所：名古屋国際会議場 2 号館 1F 212

I. 開会	p 2
II. 会長あいさつ	p 2
III. 議事録確認：2022 年度第 2 回細胞検査士会役員会議事録	p 2
IV. 報告事項	
1. 物故会員	p 2
2. 2023 年度事業計画及びこれに伴う予算書	p 2
3. 2022 年度第 1 回委員長会議	p 2
4. 2023-2024 年度役員選挙経過/結果	p 2
5. 2023-2024 年度役員/委員会構成	p 4
6. 公益社団法人 日本臨床細胞学会 定款・施行細則 細胞検査士に関する施行細則の改訂	p 5
7. 細胞検査士会会計に関する細則変更	p 6
8. その他	p 6
V. 議案	
1 号議案：2022 年度事業報告及びこれに伴う収支決算書	p 7
2 号議案：監事候補者の選任	p 24
3 号議案：その他	p 24
VI. 確認・検討事項	
1. 経理委員会内規：細胞検査士会報酬などの支給及び支出基準について	p 24
2. その他	p 25
VII. その他	p 25
VIII. 資料	
【資料 1】確認：2022 年度第 2 回細胞検査士会役員会議事録	p 26
【資料 2】報告：2023 年度事業計画及びこれに伴う予算書	p 29
IX. 閉会	

I. 開会

II. 会長あいさつ

III. 議事録の確認

2022 年度第 2 回細胞検査士会役員会議事録 【資料 1】 p 26

IV. 報告事項

1. 物故会員：

水野 義己 (ミズノ ヨシミ) 殿	CT 0481
深井 光一郎 (フカイ コウイチロウ) 殿	CT 3791
佐藤 久佳 (サトウ ヒサヨシ) 殿	CT 4639

2. 2023 年度事業計画及び予算書 【資料 2】 p 29

3. 2022 年度第 1 回委員長会議

日時：2023 年 2 月 26 日 (日) 10:00 ~ 12:00

場所：がん研有明病院 1 階会議室・Web 同時開催

- 1) 2023 年度事業計画及びこれに伴う予算書の確認
- 2) 2022 年度細胞検査士会第 2 回役員会議事録案の確認・修正
- 3) 2023-2024 年度細胞検査士会役員選挙について
- 4) Love49 啓発活動について
- 5) 正会員の権利向上に向けて
- 6) 細胞検査士会発行刊行物およびホームページ掲載記事の引用使用について

4. 2023-2024 年度役員選挙経過/結果

会長：阿部 仁 (あべ ひとし)

副会長：渋谷 康雄 (しぶき やすお)

副会長：山城 篤 (やましろう あつし)

1) 選挙人 (搭乗者) 選出について

全国に配分された定数に基づき、各都道府県から登録のあった 256 名を 2022 年 11 月 10 日に選挙人として決定した。

2) 役員 (選挙人) 選出について

定数 30~40 名、申請者 30 名のため、「2023-2024 年度役員選挙実施要綱」に基づき、選挙管理委員会で協議の結果、無投票当選とした。

※「選挙人の選出」、「役員申請受付」において、サーバの不具合により通信障害が発生し、「選

拳人では栃木県、岐阜県、香川県の3県からの受信、「役員では候補者1名の受信」ができなかった。いずれも定められた期間内での受信履歴が確認されたため、受付を行い、その後の作業を行った。

3) 異議申し立て（役員選出）

公示後5日間の異議申し立て期間内に、本結果に対する異議申し立てはなかった（2022年11月15日公示）

4) 会長の選出について

定数1名、立候補者1名のため、「2023-2024年度役員選挙実施要綱」に基づき、選挙管理委員会で協議の結果、無投票当選とした。

5) 副会長の選出について

定数2名、立候補者2名のため、「2023-2024年度役員選挙実施要綱」に基づき、選挙管理委員会で協議の結果、無投票当選とした。

6) 異議申し立て（会長、副会長選出）

公示後5日間の異議申し立て期間内に、本結果に対する異議申し立てはなかった（2023年3月13日公示）

7) その他

5. 2023-2024 年度役員/委員会構成

細胞検査士会					
2023-2024年度 役員名簿					
(* 会長推薦)					
会長		阿部 仁			
副会長		澁木 康雄	学術、国際、精度保障、あり方、渉外、経理		
副会長		山城 篤	総務、庶務、規約、都道府県代表者、編集、情報		
幹事		青木 裕志	総務委員長	幹事	佐々木 健司
幹事	*	五十嵐 清子	経理委員長	幹事	佐藤 憲俊
幹事		棚田 諭	庶務委員長	幹事	田口 雅子
幹事		平田 哲士	規約委員長	幹事	藤岡 学
幹事		阿部 英二	渉外委員長	幹事	古田 則行
幹事		遠藤 浩之	編集委員長	幹事	町田 知久
幹事		松本 慎二	学術委員長	幹事	三宅 真司
幹事		加戸 伸明	国際委員長	幹事	* 新垣 善孝
幹事		横山 俊朗	情報委員長	幹事	* 有田 茂実
幹事		伊藤 仁	都道府県代表者委員長	幹事	* 岩田 英紘
幹事		仲村 武	あり方委員長	幹事	* 田路 英作
幹事		柿沼 廣邦	精度保証委員長	幹事	* 長友 忠相
幹事		内山 勲	がん検診委員長	幹事	* 中村 純子
幹事		石原 光浩		幹事	* 二瓶 憲俊
幹事		大澤 幸希光		幹事	* 服部 学
幹事		河原 明彦		幹事	* 廣井 禎之
幹事		河村 憲一		幹事	* 姫路 由香里
幹事		岸本 浩次		幹事	* 藤田 勝
幹事		木下 勇一		幹事	* 丸川 活司
幹事		小材 和浩		監事	
幹事		小山 芳徳		監事	

6. 公益社団法人 日本臨床細胞学会 定款・施行細則 細胞検査士に関する施行細則の改訂

(改定前)	(改定後)
<p>第4章 会議 (細胞検査士会総会)</p> <p>第11条 この会は、毎年1回の定時細胞検査士会総会のほか、必要に応じて臨時細胞検査士会総会を開催することができる。細胞検査士会総会は、すべての会員により構成され、会長がこれを招集し、議決は出席会員の過半数により成立する。</p>	<p>第4章 会議 (細胞検査士会総会)</p> <p>第11条 この会は、毎年1回の定時細胞検査士会総会のほか、必要に応じて臨時細胞検査士会総会を開催することができる。</p> <p>2 細胞検査士会総会においては、以下の事項について報告する。</p> <p>1) 事業計画及び予算</p> <p>2) 事業報告及び収支決算</p> <p>3 細胞検査士会総会においては以下の事項について承認を求める。</p> <p>1) 運営に関する重要事項</p> <p>4 細胞検査士会総会は、すべての会員により構成され、会長がこれを招集する。</p> <p>5 議決は出席会員の過半数により成立する。</p>
<p>第6章 会計 (事業計画・予算書)</p> <p>第14条 この会の事業計画及びこれに伴う予算書は、会長が作成し、毎会計年度開始前に役員会で承認後、本法人理事会承認にて成立し、会計年度開始より3カ月以内に細胞検査士会総会で承認する。</p>	<p>第6章 会計 (事業計画・予算書)</p> <p>第14条 この会の事業計画及びこれに伴う予算書は、会長が作成し、毎会計年度開始前に役員会で承認後、本法人理事会承認にて成立し、会計年度開始より3カ月以内に細胞検査士会総会で報告する。</p>
<p>(事業報告・収支決算書)</p> <p>第15条 この会の事業報告及び収支決算は会長が作成し、役員会の承認後、本法人理事会承認を受け、会計年度終了より3カ月以内に細胞検査士会総会で承認する。</p>	<p>(事業報告・収支決算書)</p> <p>第15条 この会の事業報告及び収支決算は会長が作成し、役員会の承認後、本法人理事会承認を受け、会計年度終了より3カ月以内に細胞検査士会総会で報告する。</p>
<p>附 則</p> <p>1. この施行細則は、公益法人の公益認定を受けた日から施行する。</p> <p>2. 平成25年6月2日 一部改定施行。</p> <p>3. 当分の間、細胞検査士会年会費は1,000円、入会金は2,000円とし、年会費は入会時及び更新時に5年前納とする。ただし平成27年に施行された第48回細胞診検査士資格認定試験合格者の入会時は4年前納とする。</p>	<p>附 則</p> <p>1. この施行細則は、公益法人の公益認定を受けた日から施行する。</p> <p>2. 2013年(平成25年)6月2日 一部改定施行。</p> <p>3. 当分の間、細胞検査士会年会費は1,000円、入会金は2,000円とし、年会費は入会時及び更新時に5年前納とする。ただし2015年(平成27年)に施行された第48回細胞診検査士資格認定試験合格者の入会時は4年前納とする。</p>

4. 平成 26 年 6 月 7 日 一部改定施行。 5. 平成 28 年 5 月 28 日 一部改定施行。	4. 2014 年 (平成 26 年) 6 月 7 日 一部改定施行。 5. 2016 年 (平成 28 年) 5 月 27 日 一部改定施行。 6. 2023 年 (令和 5 年) 6 月 11 日 一部改定施行。
---	--

7. 細胞検査士会 会計に関する細則変更

(改定前)	(改定後)
<p>第 2 条(事業計画・予算書)</p> <p>1.事業計画・予算書は毎会計年度開始前の 2 月末までに役員会で承認し、本法人理事会承認後、会計年度開始より 3 カ月以内に細胞検査士会総会で承認する。</p> <p>2.会長は、事業計画・予算書の作成を総務委員長、経理委員長に命じて行わせることができる。</p> <p>3.総務委員長、経理委員長は各委員長から委員会の事業計画・予算案の提出を受け、事業計画・予算書を作成することができる。</p>	<p>第 2 条(事業計画・予算書)</p> <p>1.事業計画・予算書は毎会計年度開始前に役員会及び本法人理事会承認後、会計年度開始より 3 カ月以内に定時細胞検査士会総会で報告する。</p> <p>2.会長は、事業計画・予算書の作成を総務委員長、経理委員長に命じて行わせることができる。</p> <p>3.総務委員長、経理委員長は各委員長から委員会の事業計画・予算案の提出を受け、事業計画・予算書を作成することができる。</p>
<p>第 3 条(事業報告・収支決算書)</p> <p>1.事業報告・収支決算書は、毎年 4 月に監査し、役員会で承認後、本法人理事会で承認を受け、会計年度終了より 3 カ月以内に細胞検査士会総会で承認する。</p> <p>2.会長は、事業報告・収支決算書の作成を総務委員長、経理委員長に命じて行わせることができる。</p> <p>3.総務委員長、経理委員長は各委員長から委員会の事業報告・収支決算案の提出を受け、事業報告・収支決算書を作成することができる。</p>	<p>第 3 条(事業報告・収支決算書)</p> <p>1.事業報告・収支決算書は、毎会計年度終了後、監事の監査を受けた上で本法人理事会で承認を受け、会計年度終了より 3 カ月以内に役員会で承認後及び定時細胞検査士会総会で報告する。</p> <p>2.会長は、事業報告・収支決算書の作成を総務委員長、経理委員長に命じて行わせることができる。</p> <p>3.総務委員長、経理委員長は各委員長から委員会の事業報告・収支決算案の提出を受け、事業報告・収支決算書を作成することができる。</p>
<p>附則</p> <p>1.この細則は 2008 年 (平成 20 年) 11 月 14 日より施行する。 経理</p> <p>2. 2015 年 (平成 27 年) 11 月 20 日 一部改定。</p> <p>3. 2018 年 (平成 30 年) 6 月 1 日 一部改定</p>	<p>附則</p> <p>1.この細則は 2008 年 (平成 20 年) 11 月 14 日より施行する。 経理</p> <p>2. 2015 年 (平成 27 年) 11 月 20 日 一部改定。</p> <p>3. 2018 年 (平成 30 年) 6 月 1 日 一部改定</p> <p>4. 2023 年 (令和 5 年) 6 月 11 日 一部改定</p>

8. その他

V. 議案

1号議案：2022年度事業報告及びこれに伴う収支決算書

2021年11月

細胞検査士会

2022年度事業報告及びこれに伴う収支決算書

公益社団法人日本臨床細胞学会
細胞検査士会会長 阿部 仁

【2022 年度（令和 4 年度）事業報告】

1. 会長 阿部 仁

1) 細胞検査士会役員選挙

古谷津純一氏を委員長とする選挙管理委員会が設置され、2023～2024 年度の細胞検査士会役員選挙が行われた。役員（幹事）候補者申請、登録は 30 名であり 2022-2023 年度役員選挙実施要綱の選出定員 30-40 名より選挙管理委員会で協議の結果、登録した役員（幹事）候補者全員が無投票当選となった。引き続き会長、副会長選挙が行われ、会長立候補者は阿部仁氏 1 名、副会長立候補者は澁木康雄氏、山城篤氏の 2 名であり無投票当選となった。

2) 2023-2024 年度全国選出理事選挙

本年度は、「2023-2024 年度全国選出理事選挙」と「2023-2024 年度地方選出理事選挙」が行われ、細胞検査士理事は全国区より前回同様に伊藤仁、阿部仁、澁木康雄の 3 名が選出され、それぞれ倫理委員会委員長および細胞検査士委員会担当理事、細胞検査士委員会担当理事、総務委員会担当理事を任命された。

選挙にご協力いただきました評議員の方々、ご支援いただきました細胞検査士会会員の皆様に心よりお礼申し上げます。

3) 日本臨床細胞学会の動向

公益財団法人化 10 周年記念事業検討ワーキンググループにて 2024 年 4 月 28 日東京国際フォーラムにて開催予定の 10 周年記念講演会・祝賀会、記念誌発行などが検討されている。

新しいがん検診スタイルに適應した細胞診専門医あり方検討ワーキンググループの意向を受けて、細胞診専門医において細胞診精度管理アドバイザー（子宮頸がん）の位置づけや認定条件について検討中で、2022 年度内には施行細則（案）を作成される予定である。今後は細胞検査士会でも「検診アドバイザー・ワーキンググループ等」を設置して検討していく予定である。

4) 日本臨床細胞学会の事業

細胞検査士教育セミナーはコロナ禍前には例年 2 回開催されていたが、2022 年度も昨年と同様に年 1 回の開催となり、第 82 回細胞検査士教育セミナーは 2022 年 8 月 22 日から 9 月 5 日まで原田仁稔実施委員長のもと Web にて開催された。多数の方に参加していただき盛況裏に終了した。

第 84 回細胞検査士ワークショップが澁木康雄実施委員長のもと現地鏡検実習と WEB 配信講義にて行われた。現地鏡検実習は 2022 年 10 月 2 日帝京大学板橋キャンパスで開催され、講義については 2022 年 9 月 26 日から 10 月 11 日まで WEB 配信で開催された。現地鏡検実習は第 78 回細胞検査士ワークショップが聖マリアンナ医科大学で 2019 年 7 月 20 日から 21 日に開催されて以来の 3 年ぶりであり、多くの申し込みがあり盛況裏に終了した。

第 85 回細胞検査士ワークショップが阿部英二実施委員長のもと、2023 年 3 月 19 日に久留米大学病院基礎一号館 2 階組織実習室で開催され、講義については 2023 年 3 月 13 日から 3 月 28

日まで WEB 配信され盛会裏に終了した。

第 55 回細胞検査士資格認定試験は、一次試験が 2022 年 10 月 29 日（土）に大阪府新大阪駅近くの CIVI 研修センター新大阪東および新大阪丸ビル別館で行われ、受験者 643 人のうち、298 名（合格率 46.7%）が合格した。二次試験は 2022 年 12 月 3 日（土）・4 日（日）に愛知県名古屋市、名古屋駅前にあるウインク愛知で行われ、一次試験合格者 298 名および一次試験免除志願者 178 名の計 476 名のうち、2 名欠席を除く 474 名が受験し、246 名（51.9%）が合格した。

2022 年度の CT（IAC）資格認定試験は 2023 年に延期され、2023 年度は 6 月 24 日（土）に東京都の AP 浜松町にて開催予定である。

5) 公益活動

細胞検査士が各都道府県細胞検査士の協力を得て推進している 2022 年度の Love49 による子宮頸がん検診の啓発事業に関しては、渉外委員会からの報告を参照されたい。2023 年度はすべての都道府県ではないものの活動再開予定である。

チーム医療推進協会の「高校生対象の職業説明会」が 2022 年 8 月 8 日に Zoom にて開催された。細胞検査士会を代表して阿部仁氏が、細胞検査士の仕事内容や細胞検査士になるためにはどのような過程が必要かを説明した。

6) 委員会活動

委員会活動については、各委員長による詳細な報告があるので参照されたい。

7) 会員について

2023 年 4 月 3 日時点での日本臨床細胞学会会員数は 12,963 名、正会員数 5,655 名、準会員数 7,077 名である。細胞検査士数は 8,057 名（実数）で、認定数は 11,187 名である。日本臨床細胞学会会員の約 64% を占める細胞検査士は正会員の中では 20% にも満たない状況である。細胞検査士理事は前回同様に 3 名であり、現在、準会員である細胞検査士の方にもっと正会員になっていただき細胞診専門医とともに細胞検査士も積極的に学会運営に関与する必要があると考える。

8) その他

COVID-19 が 2019 年 12 月に初めて報告されて以来、収束したかと思えば感染拡大の繰り返しで今日に至っていますが、新型コロナの感染症法上の位置づけが、第 2 類からインフルエンザなどと同じ「5 類」に移行します。2022 年度になりようやく感染対策を徹底しながら顕微鏡を使用した実習が 3 年ぶりに開催されました。今後は、コロナ禍以前のように研修会の現地開催や顕微鏡実習が開催されると思います。コロナ禍の研修会など学んだ一つに今後利用していけるノウハウ (Know-how) として WEB 配信がありました。細胞検査士会のさらなる発展のため良い点は取り入れながら、今後日本臨床細胞学会の事業・学会運営および細胞検査士会会務に取り組む所存です。

2. 総務委員会

委員会業務分担要綱に基づき、当会の円滑な運営に努めた。

1) 事業報告・決算書の作成と管理

「2021 年度事業報告およびこれに伴う収支決算書」案を作成し、第 1 回細胞検査士会役員会（2022 年 6 月 10 日）及び細胞検査士会定時総会（2022 年 6 月 12 日）に議案を提出し、ともに承認された。

2) 事業計画・予算書の作成と管理

「2023 年度事業計画及びこれに伴う予算書」案を作成し、第 2 回細胞検査士会役員会（2022 年 11 月 4 日）に議案を提出し、承認された。

さらに、細胞検査士会委員長会議（2023 年 2 月 26 日）にて確認した。

3) 総会、役員会、委員長会議の議案書作成と管理

第 1 回細胞検査士会役員会（2022 年 6 月 10 日）、第 2 回細胞検査士会役員会（2022 年 11 月 4 日）、細胞検査士会定時総会（2022 年 6 月 12 日）の議案書および細胞検査士会委員長会議（2023 年 2 月 26 日）の次第を作成し、各委員へ配布した。

4) 各委員会間の情報伝達と業務調整

5) その他、他の委員会などが所掌せず、役員会が必要と認めた事項

6) 2023-2024 年度細胞検査士会役員選挙において、選挙管理委員会に協力して円滑な選挙運営を図った。

3. 経理委員会

1) 2023 年度予算案作成

2) 2022 年度会計報告書の作成

①各委員会事業報告、収支報告書、証拠処理（領収書等）の確認

②監事による会計および業務監査会の実施

③会計に関する資料および事業報告書、監査報告書を会長、学会事務局へ報告

3) 各委員会会計実施の状況

①立替金を実施した委員会

編集委員会、都道府県代表者委員会、精度保証委員会、学術委員会

②学会から直接経費（請求金）を支払った委員会

本部会計、経理委員会、編集委員会、渉外委員会、情報委員会、庶務委員会
学術委員会

4. 庶務委員会

1) 総会、役員会の開催通知及び議事録作成と管理

2022 年度第 1 回細胞検査士会役員会、2022 年度細胞検査士会定時総会、
2022 年度第 2 回細胞検査士会役員会

2) 委員長会議の開催通知及び会議の記録作成と管理

2022 年度細胞検査士会委員長会議

3) 印鑑類の管理

細胞検査士会第 22 - 001~078 まで使用・管理した

4) 当会の事業，活動記録などに必要な文書類の発行と管理

議案書，議事録，子宮の日趣意書などの資料を保管した

5) 慶弔業務

細胞学会事務局と連携し物故会員の慶弔業務を行った

6) 本会会員種別の把握

5. 規約委員会

1) 新規規則の管理と HP への掲載依頼：「2023-2024 年度役員選挙実施要綱」「情報委員会内規：Web 会議開催運営について」

2) 変更規則の管理：「会計に関する運用細則」「公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士に関する施行細則」

6. 渉外委員会

1) 子宮の日の活動：2022 Love49 キャンペーンの参加は43都道府県（92%）、

子宮頸がんを考える市民の会と細胞検査士会の提供で、ニュースレターやポケットティッシュを各都道府県細胞検査士会へ送付した。コロナ禍のため、昨年と同様、多くの地域で街頭活動は中止となり、女性が多く集まる施設、学校などで配布することが主な活動となった。

2) 2021年度（令和3年度）細胞検査士会公益広報活動調査

（啓発・社会活動と育成・養成活動）

調査期間：2022年8月～10月（回答率100%：47都道府県）

①啓発・社会活動の報告

2021 Love49 キャンペーン実施都道府県数：46都道府県（98%）、

総イベント数：57、イベント参加者数：延べ841名（細胞検査士566名、臨床検査技師66名、医師42名、その他167名）

②育成・養成活動の報告

開催数：123（複数開催した都道府県あり）、参加者数：延べ6,420名（細胞検査士4,181名、臨床検査技師1,749名、医師387名、その他103名）

③子宮頸がん検診推進活動支援金のアンケート（抜粋）

2022年度（令和4年度）分の日本臨床細胞学会子宮頸がん検診推進活動助成金を申請した：39都道府県、申請しなかった：8県

3) 第9回子宮の日全国アクション-2022報告会

第63回日本臨床細胞学会総会（東京：2022年6月11日現地開催、Web開催あり）において

2022報告会を実施した。

座長：三宅 真司（渉外委員会）、田路 英作（がん検診委員会）

演者：松本 光司（昭和大学医学部産婦人科）

小西 宏（日本対がん協会がん検診研究グループ）

永野 友佳里（東京都がん検診センター検査科細胞診）

高田 直樹（加古川総合保健センター）

4) 第63回日本臨床細胞学会総会において、2021 LOVE49 キャンペーン活動内容の記録をパネル展示として行った。

5) 第18回がん患者大集会への協力

テーマ：「がん患者が望む理想の在宅医療とは」

日時：2022年11月20（日）、13時～16時30分

会場：東京医科歯科大学（現地開催：人数制限あり+オンライン配信）

今回は人数制限ありの現地開催であり、会場の手伝いはなく、後援での協力

6) チーム医療推進協議会との連携

7) 2023 Love49 キャンペーンの準備（2022年10月～2023年3月）

①2023 Love49 キャンペーンの趣意書を各都道府県細胞検査士会代表者へ配信

②2023 Love49 キャンペーンへの参加希望を調査

③特定非営利活動法人子宮頸がんを考える市民の会とともに、子宮頸がん検診啓発活動を行うための準備

8) 第10回子宮の日全国アクション-2023報告会-の準備

第64回日本臨床細胞学会総会（名古屋）で開催予定

<総括>

今年度もコロナ禍での子宮の日の活動であり、多くの都道府県では街頭活動を中止せざるを得ない状況であった。それでも、各都道府県細胞検査士会のご尽力にて、準備した資料は子宮頸がん検診の啓発に役立つ形で配布することができた。次年度も同様の活動となることが予想されるが、各地域の感染状況に合わせた活動が望まれる。今年度、第63回日本臨床細胞学会総会において、2021 LOVE49 キャンペーンの各都道府県における資料の準備や配布活動の記録写真を、A3のポスターとしてパネル展示を行った。コロナ禍における他県の活動内容も参考になり、今後も活動の記録をポスター展示として継続していきたい。また、「がん診断の担い手」第4版は作成途中であるが、渉外委員会委員皆様のお力添えをいただき、次年度中には完成して印刷する予定である。

7. がん検診委員会

1) 第9回子宮の日全国アクション-2022 報告会-

第63回日本臨床細胞学会総会（東京：2022年6月11日現地開催・Web開催）において2022報告会を実施した。

座長：三宅 真司（渉外委員会）、田路 英作（がん検診委員会）

演者：松本 光司（昭和大学医学部産婦人科）
小西 宏（日本対がん協会がん検診研究グループ）
永野 友佳里（東京都がん検診センター検査科細胞診）
高田 直樹（加古川総合保健センター）

2) 第3回コロナ禍における細胞診業務実態調査アンケート実施にむけ準備を行った。

<がん検診委員会事業の総括>

本年度は、2020年と2021年の過去2回に渡り実施した「コロナ禍における細胞診業務実態調査アンケート」の総括を行い、第3回目のアンケートを行うため準備を行った。第3回目アンケート内容が決定できたのが秋になってしまい実施時期を逸したため、改めて内容を検討しアンケート実施にむけ準備をしたい。

現在、新たな子宮頸がん検診方法について関連団体の議論が進んでいる状況である。がん検診委員会としてもさらなる情報収集に努めたい。

8. 編集委員会

1) 会報71号・72号を発行した。

（企画 執筆依頼と原稿収集 編集作業と印刷依頼など）

2) 2022年度細胞検査士会編集委員会会議を開催した。

3) 会報73号発行に向けて作業中である。

<総括>

細胞検査士会会報Vol.71を7月に発行し、細胞検査士会会報Vol.72を12月に発行することができた。会報の目玉企画の一つでもある「セル友・全国活動報告」は、Vol.71にて鳥取県・福井県の代表者の方々に原稿の執筆していただき、Vol.72では京都府・岐阜県の代表者の方々に御協力いただいた。そして、新企画である「なごみ牧場の紹介」の連載を開始し、阿部会長へのインタビュー企画も実現させることができた。また、「喜びの受賞報告」の企画では、対象を小島三郎記念技術賞、福見秀雄賞、日本臨床検査同学院の緒方富雄賞、サクラ技術大賞、International Cytotechnologist of the Year Awardなどと拡大させ、細胞検査士の活躍を会員へ伝える良い機会が増えたのではないかと考えている。

今年度も原稿執筆していただいた方々や委員の協力があり、7月・12月の会報発行予定月に会報を発行することができた。そして、昨年度から懸案であった編集委員会会議を今年度は開催することができ、新企画の選定、委員会内での方向性を話し合えたことが大きな成果と思われる。今後は、編集委員会会議のときに話し合った方向性や新企画を実現して、さらに魅力ある細胞検査士会報を目指していきたいと考えている。

9. 学術委員会

1) 報告事項

①第 63 回日本臨床細胞学会総会

細胞検査士会要望教育シンポジウムの企画と実施

「ROSE の検体処理と感染対策」をテーマに5名の演者が発表した

②第 82 回細胞検査士教育セミナー（WEB 開催）

セルフアセスメントを精度保証委員会と共同で企画実行した。

③第 61 回日本臨床細胞学会秋季大会

細胞検査士会要望教育シンポジウムの企画と実施

「細胞診断の精度管理」をテーマに4名の演者が発表した

④第 64 回日本臨床細胞学会総会に向けた企画立案

・細胞検査士会要望教育シンポジウムの企画・演者選出

・「わからん会」再開（4名の若手検査士のポスター発表支援）

『(仮題) 非腫瘍性病変の細胞診』をテーマとし、3人の演者を選出した

⑤2022 年度細胞検査士会鏡検実習研修会（実践コース）の現地開催

2023 年 2 月 11 日～12 日，2 日間開催（会場：帝京大学板橋キャンパス）

2) 総括

学術集会における細胞検査士会要望教育シンポジウムの企画立案・演者推薦・座長選出は例年通り実施でき、本年度もテーマ企画ならびに演者の発表内容に高評価を頂いた。会場提供を賜った帝京大学様のお蔭で、3年ぶりに現地開催が実現した細胞検査士会鏡検実習研修会は、2日間の開催で計101名の細胞検査士に参加頂き、多くの参加者から数年ぶりの鏡検実習を含めた研修会に参加でき、大変勉強になったとの感想を頂き、盛会に終える事ができた。

10. 国際委員会

1) 報告事項

- ・2022 年 11 月 15 日-11 月 20 日，米国 Baltimore にて 21st International Congress of Cytology が開催された。この学会では，日本の国際委員会主導で，日・台・韓 3 か国の細胞検査士会合同企画を提案し，採択された。

‘Comparison of Educational System for Cytotechnologist among three countries; Japan, South Korea and Taiwan’ Supported by Japan Society of Cytotechnologist (JSC), Korean Association of Cytotechnologists (KACT) and Taiwan Society of Clinical Cytology (TSCC)

しかしながら，台湾・韓国両国の演者が，自国での COVID-19 感染拡大の影響により渡米不可能との結論に至り，日本の演者のみで現地発表を行った。なお，日本からは当初予定していた九州保健福祉大学の宮本朋幸先生ではなく，渡米可能な倉敷芸術科学大学の森康浩先生に変更となった。本シンポジウムは，次回の Joint Meeting 時に改めて開催することを3か国担当者と確認している。

- ・令和 5 年（2023 年）3 月，台湾にて日・台・韓 3 か国の細胞検査士による Joint Meeting を開催

すべく各国担当者と協議していたが、3か国ともに COVID-19 感染状況が未だ終息しておらず、台湾での現地開催は断念することになった。また、Web を用いた virtual convention 方式にて開催することも検討したが、各国での使用アプリケーションが異なることや技術構築にかかる費用負担についての足並みが揃わず、令和6年（2024年）3月台湾での現地開催を目指すことで合意した。

11. 情報委員会

2022年度（令和4年度）情報委員会 事業報告

各月の更新内容について

4月更新について

①細胞検査士求人情報 新掲載 11件

求人情報の記載更新（追加テキスト）1件

求人情報追加更新（変更含）申込テキスト記載（html変更）

②都道府県代表者メーリングリスト件更新

茨城県代表者の更新 三重県代表者の更新 長野県代表者の更新

東京都細胞検査士会会則の最新版・会員数の更新

福岡県細胞検査士会 HP の URL 更新

都道府県細胞検査士会 HP リンク 代表者 14 県更新

細胞検査士って何？（記載内容の変更）細胞検査士とは（記載内容の変更）

細胞検査士への道（記載内容の変更）国際細胞検査士とは（記載内容の変更）

5月更新について

①細胞検査士求人情報 新掲載 3件

②都道府県代表者メーリングリスト 2件更新 熊本県 香川県

6月更新について

①細胞検査士求人情報 新掲載 9件

②都道府県代表者メーリングリスト 1件更新 香川県

③会員専用の更新について

・2022年度第1回細胞検査士会定期総会議案書掲載（会員専用HP）

④LOVE49 キャンペーン活動掲載

2021 LOVE49 キャンペーン（20都道府県について）

コロナ禍での啓発活動 沖縄県細胞検査士会

⑤新着情報

第82回細胞検査士教育セミナーWeb 申込開始案内について

⑥各種委員会報告の掲載

2022年（令和4年度）細胞検査士会予算

2021年度（令和3年度）細胞検査士会計報告

2022年度（令和4年度）経理委員会事業計画

2021 年度（令和 3 年度）経理委員会事業報告

2022 年度 渉外委員会 事業計画 2021 年度 渉外委員会事業報告

2022 年度（令和 4 年度）情報委員会事業計画

2021 年度（令和 3 年度）情報委員会事業報告

2021 年度 細胞検査士会事業計画

⑦HP における資料およびお知らせの更新内容について

細胞診標本作製マニュアル「呼吸器」第 2 版 2012 年の更新入替

研修会単位申請の手続き変更のお知らせ【重要】最新への更新

⑧English ページ更新（更新内容）

- Message from the president of Japanese Society of Cytothechnologists
- Address of headquarter • History and Past Presidents
- EDUDCATIONAL SYSTEM • Internet affairs

7 月更新について

①細胞検査士求人情報 新掲載 6 件

②都道府県代表者メーリングリスト 1 件更新 広島県

③会員専用の更新について

- 2023-2024 年度役員選挙実施に関するファイル
- 2022-2023 役員選挙実施要綱 対照表

④新着情報

- 第 84 回細胞検査士ワークショップ【ハイブリッド開催】
- 令和 4 年度細胞検査士会 Web 研修会（細胞検査士養成コース）
- 役員選挙実施に関するお知らせ
- 細胞検査士会 2023-2024 年度役員選挙実施要綱

⑤その他

細胞検査士会ホームページガイドライン掲載申込書更新

8 月更新について

①細胞検査士求人情報 新掲載 10 件 掲載取り下げ依頼 2 件

②役員メーリングリスト 1 件更新（メール変更に伴う更新）

③会員専用の更新について

パスワードの変更について 8 月 31 日まで jsc2020 9 月 1 日より jsc2022

④新着情報

令和 4 年度 細胞検査士会 鏡検実習（細胞検査士養成コース）

9 月更新について

①細胞検査士求人情報 新掲載 7 件

掲載取り下げ依頼 1 件 記載変更依頼 1 件

②役員メーリングリスト 1 件更新（メール変更に伴う更新）

③会員専用の更新について

パスワードの変更の実施

④新着情報

- ・選挙協力のお願い 2022 2022年 9月28日掲載
- ・選管からのお知らせ<1>選挙人数 2022年 9月28日掲載
- ・選挙人(投票者)登録 2022 ファイル掲載
- ・役員候補者登録入力要領 2022 ファイル掲載

10月更新について

①細胞検査士求人情報

新掲載 8件 掲載取り下げ依頼 1件 記載変更依頼 1件

②都道府県メーリングリスト 1件更新(メール変更)

11月更新について

①細胞検査士求人情報 新掲載 1件

②都道府県メーリングリスト 1件更新(メール変更に伴う更新)

③福岡県細胞検査士会リンク更新 変更URL

④関東連合会 変更URL 関東臨床細胞学会 平成25年9月7日より記載

⑤渉外委員会 活動報告を掲載

12月更新について

①細胞検査士求人情報 新掲載 11件 掲載取り下げ依頼 2件

②新着記事 2件

- ・2022年度 細胞検査士会鏡検実習研修会(実践コース)について
- ・第2回ジョンス・ホプキンス大学(JHU)米国細胞病理学会(ASC)
- ・日本臨床細胞学会(JSCC)合同ワークショップのお知らせ

③HP内の掲示内容の変更について

- ・HP内の支部等関連文字変更削除(支部の削除)
- ・都道府県細胞検査士会ボタン
- ・リンク内文字(支部)の削除

2023年1月更新について

①細胞検査士求人情報 新掲載 13件 掲載取り下げ依頼 1件

②新着記事 3件

- ・第85回細胞検査士ワークショップについて
- ・2022年度細胞検査士会鏡検実習研修会(実践コース)について(更新)
- ・第4回チーム医療推進学会の開催並びに演題募集の案内について

③HP内の掲示内容の変更について

会員専用ページの更新および掲載

- ・2022年度第2回細胞検査士会役員会議事録(案)

- ・2022年度第1回細胞検査士会 定時総会議案書
 - ・2022年度第1回細胞検査士会役員会議事録
 - ・2022年度細胞検査士会定時総会議事録
- ④都道府県代表者変更によるメーリングリストの更新 1件
佐賀県

12. 都道府県細胞検査士会代表者委員会

- 2022/04/01 4月定期連絡メール
- ・代表者交代の報告（神奈川県、栃木県、青森県、千葉県、山口県）
- 2022/04/12 4月臨時連絡メール
- ・第63回日本臨床細胞学会総会時の都道府県代表者会議の件
- 2022/05/02 5月定期連絡メール
- ・代表者交代の報告（三重県、茨城県）
- 2022/05/23 5月臨時連絡メール①
- ・第63回日本臨床細胞学会総会時の都道府県代表者会議の件（詳細）
- 2022/05/26 5月臨時連絡メール①
- ・第63回日本臨床細胞学会総会時の都道府県代表者会議の出欠確認
- 2022/06/01 6月定期連絡メール
- ・代表者交代の報告（熊本県、香川県）
- 2022/07/01 7月定期連絡メール
- ・細胞検査士会公益広報活動調査について（三宅渉外委員長）
- 2022/07/04 7月臨時連絡メール①
- ・「細胞検査士の研究環境整備について」アンケート（阿部会長）
- 2022/07/12 7月臨時連絡メール②
- ・2022年度第1回都道府県代表者会議議事録配信
- 2022/07/19 7月臨時連絡メール③
- ・細胞検査士web研修会（細胞検査士養成コース）（柿沼精度保証委員長）
- 2022/08/01 8月定期連絡メール
- ・代表者交代の報告（広島県）
- 2022/08/09 8月臨時連絡メール①
- ・「呼吸器細胞診の報告様式に関する研究への協力者募集」（阿部会長）
- 2022/08/26 8月臨時連絡メール②
- ・細胞検査士会鏡検実習の受講募集（柿沼精度保証委員長）
- 2022/09/01 9月定期連絡メール
- ・連絡事項なし
- 2022/09/15 9月臨時連絡メール①

- ・第61回日本臨床細胞学会秋期大会時の都道府県代表者会議の件
2022/09/21 9月臨時連絡メール②
- ・2023-2024年度細胞検査士会役員選挙について（古谷津選挙管理委員長）
2022/10/01 10月定期連絡メール
- ・2022年度第2回都道府県代表者会議出欠確認
2022/10/06 10月臨時連絡メール①
- ・「2023 Love49 キャンペーン」参加についてのアンケート（三宅渉外委員長）
2022/11/01 11月定期連絡メール
- ・「2022年度第2回都道府県代表者会議」案内（阿部会長）
2022/12/01 12月定期連絡メール
- ・「2021年度公益広報事業活動調査」の御礼（三宅渉外委員長）
2022/12/05 12月臨時連絡メール①
- ・「2022年度細胞検査士会鏡検実習研修会実践コース」の参加募集（松本学術委員長）
2023/01/04 1月定期連絡メール
- ・「新年挨拶」（阿部会長）
2023/01/06 1月個別臨時連絡メール
- ・「2023 Love49 キャンペーン」参加リスト等未提出の代表に催促（三宅渉外委員長）
2023/01/10 1月臨時連絡メール①
- ・「2022年度細胞検査士会鏡検実習研修会実践コース」の参加再募集（松本学術委員長）
2023/02/01 2月定期連絡メール
- ・「第85回細胞検査士ワークショップ」の受講案内（阿部英二実施委員長）

13. あり方委員会

- 1) あり方委員会内で、専門医と細胞検査士の関係性、細胞検査士カードのあり方について聞き取り調査を行い、会長に報告した

14. 精度保証委員会

- 1) 第82回 細胞検査士教育セミナー セルフアセスメント
2022年5月28日（土）：web会議
学術委員会と連携してスライドの問題を作製
- 2) 令和4年度 細胞検査士会 Web研修会（細胞検査士養成コース） 準備会議
2022年7月11日（日）：web会議
web開催の準備、テキスト内容確認
- 3) 第82回 細胞検査士教育セミナー セルフアセスメント
2022年8月22日（月）～9月5日（月）：web開催
学術委員会と連携してスライドの問題について解説

- 4) 令和 4 年度 細胞検査士会 鏡検実習研修会（細胞検査士養成コース） 準備会議
2022 年 8 月 20 日（土）：癌研有明病院
鏡検実習の実施方法、鏡検に使用する標本の選定
- 5) 令和 4 年度 細胞検査士会 Web 研修会（細胞検査士養成コース）
2022 年 8 月 21 日（日）：web 開催
事前登録者数 296 人 当日参加人数 291 人
事前登録者にはテキストを web 開催前に配布
- 6) 令和 4 年度 細胞検査士会 鏡検実習研修会（細胞検査士養成コース）
2022 年 9 月 10 日（土）～9 月 11 日（日）：帝京大学
2022 年 10 月 1 日（土）～10 月 2 日（日）：神戸大学
事前登録者数 120 人 当日参加人数 115 人

【2022年度（令和4年度）会計報告】

1. 委員会別

公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士会 2022年 決算

3) 細胞検査士会(50周年記念事業を含む)

収入の部

科目	金額	備考
参加費	2,801,000	細胞検査士養成WS ¥4,000 296名/細胞検査士養成コース-検 検実習 ¥6,000 115名/実習研修会 ¥9,000 103名
入会金、年会費口座より	10,550,000	入会金 ¥486,000 2022年-2027年会費 ¥10,064,000
郵送費、集金事務費	177,141	メディックプランニングオフィス社(賠償保険)
過払金返金	671,880	
収入合計	14,200,021	

翌年度(2023年度)への繰越金内訳

銀行預金	24,617,567
記念事業	4,788,501
郵便振替	23,957,270
細胞検査士WS	2,471,150
検査士会50周年記念誌	0
現金	175,413
合計	56,009,901

※2023.4.1現在

委員会 科目	管 理 費											事業費			総合計	
	本部	総務	情報	経理	庶務	編集	渉外	都道府県 代表	規約	国際	あり方	管理費合計	精度保証	学術		事業費合計
通信運搬費	488	-	313,500	672	-	2,207,687	143,715	520	-	-	-	2,666,582	145,640	3,850	149,490	2,816,072
旅費交通費	77,956	-	-	5,710	-	-	-	-	-	-	-	83,666	318,034	182,205	500,239	583,905
印刷製本費	12,804	-	-	-	-	1,606,166	907,032	-	-	-	-	2,526,002	269,511	199,309	468,820	2,994,822
消耗品費	-	-	-	-	-	18,364	-	-	-	-	-	18,364	11,652	-	11,852	30,016
消耗什器備品費	-	-	-	-	-	96,980	-	-	-	-	-	96,980	3,980	-	3,980	100,960
会議費	-	-	-	10,000	-	-	24,000	21,000	-	-	-	55,000	72,000	46,000	118,000	173,000
会場費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	153,639	99,000	252,639	252,639
委託費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-
接待交際費	410,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	410,000	-	-	-	410,000
諸謝金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	380,143	260,391	640,534	640,534
源泉徴収	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	41,857	29,609	71,466	71,466
雑費	9,350	-	770	-	-	5,148	2,288	484	-	-	-	18,040	4,510	7,238	11,748	29,788
合計	510,598	-	314,270	16,382	-	3,934,345	1,077,035	22,004	-	-	-	5,874,634	1,400,966	827,602	2,228,568	8,103,202

収入合計	14,200,021
支出合計	8,103,202
事務局支出	-
収支差額	6,096,819

以上の通り、(2022年4月1日～2023年3月31日)の細胞検査士会決算を計上します。

2023年3月31日

細胞検査士会 会計担当

仲村 武

同 会長

阿部 仁

2. 勘定項目別

2022年(令和4年度)

日本臨床細胞学会細胞検査士会 会計報告

(翌年度への繰越金内訳)

前年度からの繰越金	49,913,082		銀行預金	24,617,567
(うち記念事業分)			記念事業	4,788,501
今年度(2022年)総収入	14,200,021		郵便振替	23,957,270
今年度(2022年)総支出		8,103,202	検査士会WS 検査士会	2,471,150
翌年度への繰越金		56,009,901	(50周年記念誌用)	0
(うち記念事業分)			現金	175,413
合計	64,113,103	64,113,103	合計	56,009,901

収入・支出 明細

収入の部		支出の部(管理)		支出の部(事業)	
入会金	486,000	通信運搬費	2,666,582	事業費	
会費		旅費交通費	83,666	通信運搬費	149,490
		印刷製本費	2,526,002	旅費交通費	500,239
2022年(H34)	29,000	消耗品費	18,364	印刷製本費	468,820
2023年	2,012,000	什器備品	96,980	消耗品費	11,652
2024年	2,013,000	会議費	55,000	什器備品	3,980
2025年	2,013,000	会場費		会議費	118,000
2026年	2,013,000	委託費		会場費	252,639
2027年	1,984,000	接待交際費		委託費	
		会費	410,000	接待交際費	
		諸謝金		諸謝金	570,000
		臨時雇賃金		臨時雇賃金	142,000
		雑費	18,040	雑費	11,748
				事業費支出計	2,228,568
				寄附金	
				郵便振替手数料	
				支払負担金他	0
				小計	8,103,202
収入小計 1	10,550,000	管理費支出計	5,874,634	総支出	8,103,202
保険管理料(郵送料 等)	177,141				
ワークショップ参加費	2,801,000				
50周年記念誌販売					
学会立替金 (次年度返金予定)	671,880	雑収入			
		銀行利息	0		
		収入小計 2	3,650,021		
		総収入	14,200,021	今年度の収支差額	6,096,819

上記の通り、令和4年度(令和4年4月1日～令和5年3月31日)の細胞検査士会会計を報告致します。

令和5年4月26日 細胞検査士会会計担当 仲村 武




【2022年度（令和4年度）監査報告】

監査報告書

2023年3月31日

公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士会
会長 阿部 仁 殿

監事 石井 保音 

監事 鳥居 良貴 

2022年度（2022年4月1日～2023年3月31日）の会計および業務の監査を行った。以下の通り報告する。

- 1) 会計監査について、帳簿ならびに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算、書類が正確かつ適正であることを認めた。
- 2) 公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士会の業務に関する不正行為および法令や公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士会諸規則違反などの事実はないと認める。

補足事項

- *繰越金については、有効な活用方法を検討してほしい。
- *公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士会役員および委員は本来業務に加えて細胞検査士会業務に尽力したことを認める。
- *コロナ禍の中、精度保障委員会・学術委員会主催細胞検査士鏡検実習研修会は、細胞検査士資格試験受験者及び細胞検査士の教育に貢献した。
- *役員が無投票当選が2期続いている。多くの会員が正会員となり、役員に積極的に立候補するような環境を整備し、若い世代の新しい考えを細胞検査士会に反映して頂きたい。そしてさらなる細胞検査士会の発展を望む。

以上

2号議案：監事候補者の選任

3号議案：その他

VI. 確認・検討事項

1. 経理委員会内規：細胞検査士会報酬などの支給及び支出基準（経理委員会）

	(制定案)
	<p>(目的)</p> <p>第1条 この要綱は公益社団法人日本臨床細胞学会細胞検査士会の事業を推進するための研修会、会議等における謝礼等（講師料、実施委員日当、臨時雇い金、旅費、宿泊費、食事代を含む）に要する経費の支出について、必要な事項を定め、適切な取り扱いを図ることを目的とする。</p>
	<p>(適用)</p> <p>第2条 この基準は細胞検査士会における謝礼等の支給ならびに会議費の支出について適用する。</p>
	<p>(支出範囲)</p> <p>第3条 謝礼等の支給ならびに会議費の支出ができる研修会、会議などは細胞検査士会が主催する研修会、会議である場合とし、支給、支給内容、支給対象者は社会通念上妥当と認められる範囲内であり、かつ、支給、支給額は必要最小限の金額であるものとする。</p>
	<p>(支出額)</p> <p>第4条 研修会、養成講習会等における謝礼金は医師講師料：3万円、細胞検査士講師料：1万5千円とする。但し、講演時間は基本的に1時間とする。30分に満たない場合には各1万5千円、1万円とする。実施委員日当1万5千円、臨時雇い金日当1万円とする。実施委員とは各委員会委員長または委員であり、臨時雇い者は各委員会に属さない者とする。</p> <p>会議等に関わる食事補助は2,000円までとする。</p> <p>宿泊料は職務遂行の為に必要な泊数に応じ、1泊15,000円を上限とする。</p> <p>交通費は自宅から会場までの交通費とし、航空機はでき</p>

	<p>るだけ早割を利用する。航空機代金パックを利用しても構わない。会場が勤務地の場合は支給しない。</p> <p>原則的に懇親会には支出しない。ただし、会長が主催する社会的、国際的儀礼上必要な懇親会、又は儀礼上役員出席が必要な他団体主催の会議は、本条の適用は受けない。</p>
	<p>(雑則)</p> <p>第5条 その他、この基準により難しい場合は担当委員長、経理委員長および会長の承認を得て決定する。</p>
	2023年(令和5年)6月9日制定

2. その他

VII. その他

Ⅷ. 資料

【資料1】確認：2022年度第2回細胞検査士会役員会議事録

2022年度 第2回細胞検査士会役員会議事録

日時：第61回日本臨床細胞学会秋期大会

2022年11月4日（金）13:00～14:45 現地 & Web 会議

場所：仙台サンプラザホテル 3F クリスタルルーム

出席者：

【会長】阿部仁

【副会長】澁木康雄，山城篤

【幹事】青木裕志，仲村武，棚田諭，平田哲士，三宅真司，遠藤浩之，松本慎二，加戸伸明，横山俊朗，阿部英二，古田則行，柿沼廣邦，田路英作，伊藤仁，原田仁稔，河村憲一，木下勇一，小林幸弘，小山芳徳，内山勲，佐々木健司，今枝義博，岸本浩次，土田秀，町田知久，南部雅美，藤岡学，有田茂実，長友忠相，片山博徳，宅見智晴，服部学，廣井禎之，藤田勝，中村純子，小村和浩，丸川活司

【監事】石井保吉，鳥居良貴

欠席者：田口雅子，河原明彦，姫路由香里

会の成立：役員45名中42名出席，委任状提出3名で会が成立した。

議長：阿部会長が青木総務委員長を指名

議事録作成：棚田諭，中村純子

議事録署名人：石井保吉，鳥居良貴

I. 開会

II. 会長挨拶

今回の役員会は通常の役員会と異なり，最初に佐々木寛先生の方からご講演をいただき，その後に通常の役員会を行なう予定である。

佐々木寛先生は，日本臨床細胞学会幹事以外にも，日本婦人科癌検診学会の理事長，日本人間ドック学会理事，東京慈恵医科大学客員教授，徳洲会千葉徳洲会病院の婦人科部長を務めている。今回は職域検診における子宮頸がん検診の最新の動向ということでご講演いただく。

「職域検診における子宮頸がん検診の最新動向」佐々木寛先生のご講演（ZOOM）

今後の日本臨床細胞学会開催および国際学会予定報告

・第64日本臨床細胞学会総会春期大会

2023年6月9日（金）～11日（日），藤井多久磨，愛知名古屋国際会議場

- 第 62 回日本臨床細胞学会秋期大会
2023 年 11 月 4 日（土）～11 月 5 日（日），横山正俊，福岡国際会議場，福岡サンパレスあるいはマリノメッセ福岡
- 第 65 回日本臨床細胞学会総会春期大会
2024 年 6 月 7 日（金）～9 日（日），森井英一，大阪国際会議場
- 第 63 回日本臨床細胞学会秋期大会
2024 年 11 月 16 日（土）～17 日（日），進伸幸，千葉幕張メッセ
- 第 66 回日本臨床細胞学会総会春期大会
2025 年，田畑務，東京

臨床細胞学会関連の連絡事項

- 第 55 回細胞検査士資格認定試験
1 次試験：2022 年 10 月 29 日（土），CIVI 研修センター新大阪東および新大阪丸ビル別館にて実施終了
2 次試験：2022 年 12 月 3 日（土），4 日（日）ウインクあいち（愛知県，名古屋市）にて実施予定
- 2023 年 IAC 試験：6 月 24 日（土），AP 浜松町にて実施予定
コロナ禍で 2 年間開催できておらず，今回の受験者の選定基準・運用等については未定

Ⅲ. 議事録確認

2022 年度第 1 回細胞検査士会役員会議事録の確認
議事録として成立

Ⅳ. 報告事項

1. 物故会員
物故会員に対する黙祷（阿部会長）
2. 2023-2024 年度細胞検査士会役員選挙
 - 選挙人の登録（最終調整中）
 - 幹事候補者 29 名の無投票当選の報告
 - 新たに選出された幹事の中より選挙人による会長および副会長の選出を 2023 年 2 月までに実施する予定
 - 公示および一般会員からの立候補については，ホームページに選挙の要綱等を掲載しており，改めでは掲載していない。選挙人の登録で申請のなかった 3 県（栃木県・岐阜県・香川県）については改めて申請なしである旨を確認しており，理由については検査士会の方から確認予定
 - 選挙実施要綱にある，次回選挙においては本法人正会員であるすべての会員を選挙人とする方法を検討する件について，選挙管理委員会から機会をもって報告の予定

- ・次回役員選挙においては WEB による投票で実施する方法を検討する件について、日本臨床細胞学会がその方向で進んでいるので、足並みをそろえて進めていく予定

V. 議案

1号議案：2023年度事業計画及びこれに伴う予算案 可決・承認

仲村経理委員長より説明

2号議案：会計に関する運用細則の変更 可決・承認

仲村経理委員長より説明

それぞれ毎会計年度開始前に役員会及び本法人理事会承認後、検査士会総会で報告するという事に変更となる。

平田規約委員長より補足説明

3号議案の内容が理事会で正式変更されて規約が変わるのに伴い、当会の運用細則の変更となる。

3号議案：公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士に関する施行細則の変更 可決・承認

阿部会長、仲村経理委員長より説明

専門医の若狭先生より、総会で承認ではなく報告と言う形になっているということで現状に則していない旨、理事会より変更の案件がおりてきたので、専門医会と検査士会と同じ運用でいきたい意向があり見直しとなった。

平田規約委員長より補足説明

承認から報告に変更となり、総会での議案から「事業計画及び予算」と「事業報告及び収支決算」が外れ、報告事項に変更となる。新たに承認を求めることが明記されたので、運営に関する重要事項というものが何なのかを、細則や内規等で定めておく必要がある。

VI. 確認・検討事項

1. 検診アドバイザーについて（阿部会長）

佐々木先生からのご講演での細胞検査士のアドバイザーの提案に関して、担当等も今後決めていく必要があるが、細胞検査士会としては積極的に理事会の方に協力をしている旨伝え、なおかつ細胞検査士のアドバイザー、検診アドバイザーについてはまずは予定スケジュールを考えて行く方向で進める。（参考）専門医の方のアドバイザーは日本臨床細胞学会の中でワーキンググループが立ち上がって、それから今そういう制度を作ろうと動いている。

VII. その他

1. 第82回の細胞検査士教育セミナーの報告（原田幹事）

実施委員長である原田幹事より、2,100名を超える参加人数で無事終了することができた旨、報告とお礼が述べられた。

VIII. 閉会

細胞検査士会
2023 年度事業計画及びこれに伴う予算書

公益社団法人日本臨床細胞学会
細胞検査士会会長 阿部 仁

【2023年度（令和5年度）事業計画】

1. 2023年度細胞検査士会事業計画

1) 本部

【目的】会員の細胞学的知識の向上と技術の研鑽，ならびに公益社団法人日本臨床細胞学会事業に協力し，細胞検査士の社会的地位の確立により社会への貢献を図る。

【予定・計画】

- ① 各委員会事業の計画，実施，進捗の管理
- ② 各委員会事業の結果を会員へ報告
- ③ 公益社団法人日本臨床細胞学会の動向を会員へ報告
- ④ 総会の開催（1回/年以上）
- ⑤ 役員会の開催（2回/年以上）
- ⑥ 委員長会議の開催（1回/年以上）
- ⑦ 日台韓細胞検査士合同セミナー開催（協力）

【会の公益活動について】

- ① 『子宮の日』の活動をはじめとする会の公益活動において，その活動内容を公益社団法人日本臨床細胞学会に報告し理解を求める。

【公益社団法人日本臨床細胞学会事業への協力】

- ① 各種委員会会務
- ② 細胞検査士教育セミナー開催
- ③ 細胞検査士ワークショップ開催
- ④ 学術集会開催
- ⑤ 細胞検査士資格認定試験
- ⑥ 細胞検査士養成事業

2) 総務委員会

委員会業務分担要綱に基づき，当会の円滑な運営に努める。

- ① 事業報告・決算書の作成と管理
「2022年度事業報告及びこれに伴う決算書」を作成し，6月に役員会議案提出
- ② 事業計画・予算書の作成と管理
「2024年度事業計画及びこれに伴う予算書」を作成し，11月に役員会議案提出
- ③ 総会，役員会，委員長会議の議案書作成と管理
定時総会（6月），第1回役員会（6月），第2回役員会（11月）
委員長会議（2023年度）の議案書作成と配信
- ④ 各委員会間の情報伝達と業務調整
- ⑤ その他，他の委員会などが所掌せず，役員会が必要と認めた事項

3) 経理委員会（本会の会計管理を担当）

- ① 細胞検査士会予算・事業計画の作成
- ② 細胞検査士会決算・事業報告の作成
- ③ 各委員会の出納の確認・学会への報告
- ④ 監査会の開催
- ⑤ 役員会・総会での予算・決算の報告

4) 庶務委員会

- ① 総会，役員会の開催通知及び議事録作成と管理
- ② 委員長会議の開催通知及び会議の記録作成と管理

- ③ 印鑑類の管理
- ④ 当会の事業、活動記録などに必要な文書類の発行と管理
- ⑤ 会員の慶弔に関すること
- ⑥ 本会会員種別の把握

5) 規約委員会

- ① 関係委員会とともに、規則類の見直し・検討を行い、必要に応じて総会、役員会の議案として提出する。
- ② 総会、役員会の決議によって、制定、変更された規則類（施行細則、細則、運用細則、要綱）を管理し、情報委員会と連携して細胞検査士会 HP に掲載する。
- ③ 役員会で確認・検討された規則類（各委員会の内規など）を関係委員会とともに管理する。
- ④ 対面式の会議を開催する。

6) 渉外委員会

- ① 子宮の日の活動：2023 Love49 全国プロジェクト
- ② 2022 年度細胞検査士会公益広報活動調査（啓発・社会事業と育成・養成事業）
- ③ 子宮の日全国アクション-2023 報告会（日本臨床細胞学会総会：名古屋）
- ④ 日本臨床細胞学会総会および秋期大会におけるパネル展示
- ⑤ がん患者大集会の会場協力
- ⑥ 細胞検査士会ホームページへの Love49 活動関連ページへの内容追加
- ⑦ リーフレット「がん診断の担い手」第 4 版作成の継続
- ⑧ がん検診委員会
新たな細胞診業務実態調査実施にむけた検討
有効性評価に基づく子宮頸がん検診ガイドライン検証の継続
国外における子宮頸がん検診 HPV 検査単独法導入時のトリアージ方法に関する調査

7) 編集委員会

- ① 会報 73 号、74 号の企画・原稿の編集・会員への会報発送

8) 学術委員会

- ① 細胞学会時の細胞検査士要望教育シンポジウムの企画（演者・座長の選出）
- ② 細胞学会時の『わからん会』の企画・支援
- ③ ヤングコミッティーワークショップの新規計画および支援
- ④ 細胞検査士教育セミナーの実施協力、企画およびセルフアセスメント作製（精度保証委員会と連携）
- ⑤ 細胞検査士会鏡検実習研修会（実践コース）の開催（2 回/年）
- ⑥ 細胞検査士会ホームページ「一般の方向け」の学術記事（がん細胞の説明）の更新
- ⑦ 「標本作製マニュアル」の更新（精度保証委員会と連携）

9) 国際委員会

- ① 国際的な学会・セミナー等の把握と情報伝達

臨床細胞学の国際的な行事の把握に努め、細胞検査士会 HP を通じ会員への情報伝達を行っていく。The 44th European Congress of Cytology (ECC) が Budapest にて 2023 年 10 月 1 日～10 月 4 日の日程で開催予定である。

② 国際的な諸団体との交流に関する事業

令和 6 年（2024 年）3 月に日・台・韓 3 か国の細胞検査士による Joint Meeting を台湾にて開催する計画を進めているが、各国の感染状況および渡航制限の変動も未だ大きいため、具体的な開催日程や開催都市を含め開催概要は未定である。各国の社会状況を含めて、3 か国代表者と連絡を取り合っており、詳細が決まり次第 HP などを通じてご案内申し上げる。

10) 情報委員会

- ① ctjsc.com（細胞検査士会 HP）CMS システム保守・更新・運用
- ② 委員長 ML 及び役員会および都道府県代表者 ML へ毎月の更新内容を報告
- ③ 委員長、役員会及び都道府県代表者会議メーリングリストの管理
- ④ Intercyto.com（インターネットサイトロジーHP）CMS システムの構築
- ⑤ 都道府県細胞検査士会および各県臨床細胞学会へのリンク整備
- ⑥ 細胞検査士会 HP の英語ページの整備
- ⑦ Web 会議システムを利用した会議 URL 発行

11) 都道府県代表者委員会

- ① 2023 年度第 1 回細胞検査士会都道府県代表者会議の開催
- ② 2023 年度第 1 回細胞検査士会都道府県代表者委員会
- ③ 2023 年度第 2 回細胞検査士会都道府県代表者会議の開催
- ④ 2023 年度第 2 回細胞検査士会都道府県代表者委員会

12) あり方委員会

- ① 細胞検査士の役割と責任、方向性について検討
- ② 細胞診専門医との連携に関することの検討
- ③ 細胞診及び細胞検査士に関する調査・研究事業
- ④ 細胞検査士資格更新に関する方向性に関する検討（細胞検査士カードの必要性）

13) 精度保証委員会

- ① 細胞検査士教育セミナー、セルフアセスメント実施（学術委員会との連携事業）
- ② 細胞検査士会 Web 研修会（細胞検査士養成コース）（関東・関西）の実施
- ③ 細胞診標本作製マニュアル（体腔液・呼吸器・泌尿器）改訂版の作製（学術委員会との連携事業）

【2023年度（令和5年度）予算案】

1. 委員会別

公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士会 2023年度 予算

細胞検査士会

繰越金内訳

収入の部

科目	金額	備考
参加費	2,900,000	学術委員会:細胞検査士会総検実習研修会(実践コース) 50人×9,000円×2回 合計 90万円 精度保障委員会:総検実習研修会(細胞検査士養成コース) 東日本・西日本/参加費10,000円 募集人員 合計200名 合計200万円
入会金、年会費口座より	2,100,000 4,856,540	第55回CT合格者予測の入会金と年会費 繰越金から(更新者年会費相当)
郵送料、集金事務費	150,000	メディックプランニングオフィス社(賠償保険)
収入合計	10,006,540	

銀行預金 31,178,507
 記念事業 4,788,501
 郵便振替 12,470,960
 検査士会WS 1,283,350

現金 191,764
 合計 49,913,082

入会金 2,000円 年会費 1,000円
 入会・更新時に5年分先払 1,000円×5年分 5,000円
 第55回CT合格者予測300名の入会金と年会費
 300名×2,000円+300名×5,000円

支出の部

科目	管 理 費											事業費		合計
	本部	総務	情報	経理	庶務	編集	渉外	都道府県代表	規約	国際	あり方	精度保証	学術	
通信運搬費	5,000	40,000	313,500	40,000	10,000	1,410,000	220,000	1,040	-	5,000	30,000	20,000	10,000	2,104,540
旅費交通費	310,000	140,000	-	140,000	-	50,000	20,000	-	-	20,000	-	600,000	200,000	1,480,000
印刷製本費	-	-	-	-	-	1,600,000	1,050,000	-	-	100,000	-	630,000	180,000	3,560,000
消耗品費	20,000	20,000	-	20,000	5,000	50,000	40,000	-	-	5,000	20,000	3,000	10,000	193,000
消耗什器備品費	-	-	-	-	10,000	100,000	-	-	-	-	-	25,000	-	135,000
臨時雇賃金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	70,000	60,000	130,000
会議費	100,000	44,000	-	44,000	-	-	50,000	94,000	20,000	20,000	20,000	120,000	30,000	542,000
会場費	300,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	90,000	100,000	490,000
委託費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20,000	-	-	-	20,000
交際接待費	50,000	-	-	-	10,000	-	-	-	-	10,000	-	-	-	70,000
諸謝金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	400,000	300,000	700,000
雑費	520,000	-	5,000	-	5,000	-	-	-	-	-	-	42,000	10,000	582,000
合計	1,305,000	244,000	318,500	244,000	40,000	3,210,000	1,380,000	95,040	20,000	180,000	70,000	2,000,000	900,000	10,006,540

支出合計	10,006,540
------	------------

以上の通り、2023年度(2023年4月1日～2024年3月31日)の細胞検査士会予算を計上します。

2022年10月31日

細胞検査士会 会計担当

仲村 武

同

会長

阿部 仁

